

2025年度 クラスだより <冬号>

ひなた保育園

保育目標

- ・感性豊かな子ども
- ・発見できる子ども
- ・認め合える子ども

保育理念

子どもの力を信じ
優しい心と豊かな感性
を育てる

クラスのねらい

つくし組

- ・一人ひとりの生活リズム、個性、発達に応じた信頼関係を築く
- ・聞く、見る、触るなどの経験を通して感覚遊びを楽しむ

せり組

- ・保育者との人間関係のもと、自分でしようとする気持ちが芽生える
- ・いろいろなものに興味を持ち、気づいたり感じたりする

のいちご組

- ・快適な環境のもと、基本的な習慣を徐々に自分でしようとする
- ・経験の中で感じた事や、思い浮かべた事を感じたままに表現して楽しむ

みつば組

- ・自我が成長し、自分について認識と同時に、家族、友だち等の関係が分かる
- ・感じた事や思った事を様々な形で自由に表現する

ふきのとう組

- ・友だちとの繋がりが深まり、集団で活動することを楽しむ
- ・友だちとイメージを共有しながら、想像したことをいろいろな方法で表現する

たけのこ組

- ・人の立場を理解して行動し、自主と協調の姿勢や、態度が身に付く
- ・友だちとイメージを広げながら、いろいろな表現を楽しみ、達成感を味わう

各クラスの様子

つくし組 (0歳児)

寒い日が続いていますがこどもたちは元気いっぱいです。さて、最近はおともだちとの関わりが増え、自然と集まって砂場遊びをしたり、テーブルにお皿やコップを並べておままごとをしたり、園外保育では「こっちに行ってみよう」と一緒に川治いを探索し、カモが泳いでいるところや水がキラキラ光っているのを眺めて楽しんでいます。

また、ねこじゃらしやどんぐり、小石など自然物にも興味津々で手のひらいっぱい集めて、おともだちにもどうぞと分けてあげる姿もありました。みつけた自然物を排水溝の穴にぽとん！穴の中を覗いては落として繰り返し遊んでいました。

その他にも、おともだちの名前を呼んだり、おともだちが帰る時に「バイバイ」とニコニコ笑顔で手を振ったり、おともだちが大好きなこどもたちです。

今年度も残りわずかですが日々成長していくこどもたちの姿を温かく見守っていきたいと思います。



せり組 (1歳児)

冬の冷たい空気の中でも元気いっぱいの子どもたち。先日の雪が降った後には、園庭に積もった雪を目の前にして、「わあぁ！」と歓声が上がリ、目を輝かせていました。「つめたい！」とはしゃぐ声や手のひらの上で雪がすーっととけてなくなる様子を不思議そうに見つめたりと、特別なひとときを過ごしました。

最近の大きな成長は何といっても足腰が強くなったことです。今ではしっかりと自分の足で歩き、お散歩の距離もぐんと伸び、少し遠くの公園まで遠出することも増えてきました。

そして、友だちとの関わりも広がり、遊びの中で「おいしいね。」と言いながらままごと遊びをしたり、「〇〇ちゃんおいで」と誘ったりと、やりとりを楽しむ微笑ましい光景が増えました。ひとりで遊ぶ楽しさから、友だちと一緒に過ごす楽しさへ…。そんな心の育ちを感じながら頼もしさでいっぱいです。

この一年で心も体も大きく成長した子どもたち。一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。





のいちご組 (2歳児)

真冬の寒さに負けず戸外で元気いっぱい遊ぶ子どもたち。冷たい空気の中で霜柱や氷などの冬の自然を発見したり、広場で走り回ったりして元気に過ごしています。

戸外では、ドロボーごっこやかくれんぼをするのが大好きです。先生がドロボー役、子どもたちが警察役に分かれ「まちなさい！」と言いながら追いかけています。体力もつき、上手に走れるようになってきたので、先生を捕まえるまではどこまででも追いかけてきます。1回だけでも疲れるのに子どもたちは「また逃げて！」と疲れ知らずです。

かくれんぼでは、ただ隠れるだけではなく、見つける役にもチャレンジ。先生と一緒に数を数えたり、「もういいかい？」と聞いたりして少しずつルールを覚えていきます。今後も少しずつルールのある遊びを取り入れ、友だちとの関わりを深めていきたいと思っています。

進級まで残りわずか。着替えや食事など身の周りのことを自分でやりたいという気持ちを尊重して、「自分でできた」という自信につなげていけるように声を掛けていきたいと思っています。



ふきのとう組 (4歳児)

厳しい寒さが続きますね。先日は積雪もあり大はしゃぎで雪遊びをしたり、裏山では秘密基地の2基目をこっそり作ったりと、寒さに負けず元気に遊ぶふきのとう組です。最近遊びに行った清水寺公園では早咲きの河津桜を見ることができ、寒い中ですが少しずつ春の訪れを感じる今日この頃です。

さて、改めましてお楽しみ会へのご参加ありがとうございます。「竜宮城にどんなお部屋があったら楽しいかな」「最後、自分が浦島太郎だったらどうしたいかな」など、自分達で考えた物語を楽しく演じることができました。「〇〇くんのはんだよ！」と舞台上上がる順番を教えたり、友達のセリフを覚えて教え合う姿も見られ、子ども同士で成長する姿を頼もしく見ることができました。お楽しみ会を通して、協力する楽しさや表現する面白さを子ども達に感じてもらえればと思います。

もうすぐ3月、ふきのとう組で過ごす時間もわずかとなってきます。次はいよいよ年長組ですね。最後まで楽しんで過ごしていきますので、どうぞよろしくお祈りします。



みつば組 (3歳児)

先日は、お忙しい中お楽しみ会にご参加いただきありがとうございます。みつば組は運動会をはじめ、造形展の大型造形、劇では「おむすびころりん」を題材とし一年をかけて様々な形でおにぎりを表現してきました。初めての発表会でしたが、自由遊びのなかで戸外でおにぎりを転がしてみたり、おむすびころりんごっこをしてみたり歌やダンスを踊ったりと、普段の子どもたちの姿から劇遊びに繋げ少しずつ形になっていきました。ドキドキしながらも大きな声で歌い、自信満々にたくさんのお客さんの前に立つ子どもたちの姿はとてもたくましく成長しましたね。その後も、園外で穴を見つけると「ねずみさんのお家かな?」「おむすびころりんすっとんとん」と口ずさむ子どもたちの可愛い姿にほっこりしました。

友だちとの関わりでは、保育者が仲立ちしようと思守っている、子ども同士自分の思いを一生懸命言葉で伝えようとする姿、上手く言えず強い口調になり喧嘩になる場面、経験を重ね成長を感じるこの頃です。

残り少ないみつば組での生活が楽しい思い出となるよう大切に過ごしていきたいです。



たけのこ組 (5歳児)

お楽しみ会が終わり、お部屋ではしたきりすずめの好きな登場人物を演じ、「まだ練習したーい！」と声に出す姿が見られます。実際に使った小道具を真似て作り、セリフを言ってみるなど盛り上がっています！

寒い日が続いていますが、室内遊びのみにならないよう、積極的に戸外に出かけています。鬼ごっこやサッカーで体を動かし、「寒くないよ！」と元気いっぱいの子どもたち。冷たい空気に触れながら体を動かす気持ちよさや、冬ならではの自然の変化にも目を向けていきたいと思っています。

いよいよ卒園に向けた活動や行事が始まります。1月、杉本小学校5年生に招待されて交流しました。帰り際「職員室ってどこにあるの?」「音楽室ってほんとにおぼけいるの?」と色々な質問が保育室内で飛び交いました。

お屋敷も無くなり、もうじき小学生ですね。2月末にまた小学校に行く機会があるので、前回の経験を思い出しながら、さらに期待を膨らませていきたいです。また、これまでの園生活の思い出を振り返りながら、最後まで楽しんでいきたいと思っています。

